

# チェコ

THE CZECH  
PHILHARMONIC  
CHILDREN'S  
CHOIR

# 少年合唱団 少女合唱団



チェコフィルハーモニー協会付属/指揮:イジー・フワーラ

7/29[土]

午後7時

たんば田園交響ホール

## 第1部

### ヨーロッパの合唱名曲

スマタナ

祝典贊歌

ヘンデル

ラルゴ

モーツアルト

数多くの恋人たちの間にもK.549

ヴュルディ

歌劇「ナフツコ」より合唱

チャイコフスキ

歌劇「エフゲニー・オネーゲン」より女声合唱

ドヴォルザーク

家路

我母の教え給いし歌

ほか

## 第2部

### 民族衣装による 踊りとチェコの合唱

チェコの民族衣装による歌と踊り

トロヤン

カーニバル

主催=篠山町

招聘・提供=梶本音楽事務所  
後援=チェコスロヴァキア

社会主義共和国大使館



入場料 **¥3,500** (当日 **¥4,000**)  
<全席指定>

## 第3部

### チェコスロヴァキアと 日本の民謡

夏の思い出

歌えパンパン

ふるさと

遠くへ行きたい

赤くんば

そのほか日本の歌と

チェコスロヴァキアの民謡

\*曲目は変更になることもあります

●お問い合わせ  
たんば田園交響ホール

☎ 0795(52)3600

〒669-23 兵庫県多紀郡篠山町北新町41

●前売券発売所

篠山町内/書店・楽器・レコード店・役場支所  
多紀郡内/各町公民館(各農協支所では取次)  
氷上郡/春日町文化ホール・柏原町観光案内所  
三田市/ニチイ三田店サービスコーナー

# チェコ少年少女合唱団の来日に寄せて

音楽評論家  
後藤田 純生

## 1. 歴史の古いチェコ少年少女合唱団

ヨーロッパ諸国には数多くの少年少女合唱団があり、それらのうちの二十近くがわが国を訪れていることはご承知のとおりである。それらの中でも、チェコスロヴァキア国立チェコ少年少女合唱団は歴史が古いばかりではなく、卓越した音楽表現力と幅広いレパートリーとして世界各国の注目の的となっている。

わが国にも1976年以来、既に4回招へいされているが、その実力や真価がもうひとつ知られていないように思えるのは、実に残念なことである。

欧米諸国に少年少女合唱の運動が急速に盛り上がったのは、第二次大戦が終わってからであるが、それよりも十数年も前に、ヨーロッパの片隅でひとつの少年少女合唱団がうぶ声をあげた。これがこのチェコ少年少女合唱団で、1932年のことである。創立者はヤン・キーン博士で、この人は世界における少年少女合唱団の開祖であるわけである。キーン博士は1968年に他界しているが、チェコスロヴァキアでは、別名をキーン少年少女合唱団と呼び、博士の功績を讃えている。

## 2. 楽しさに満ちた合唱表現

このチェコ少年少女合唱団の指揮者に、現在の指揮者であるイジー・フワーラ博士が就任したのは1968年で、その後フワーラ博士の卓越した指導により、合唱団はめきめきその技量を高めて行った。フワーラ博士は、デビュー当時からチェコスロヴァキアきっての俊銳指揮者として各方面から評価されて来たのであるが、このチェコ少年少女合唱団の指導を受け持つてからこの合唱団をたちまちのうちに時代の先端を行く少年少女合唱団に生まれ変わらせる

のに成功した。

チェコ少年少女合唱団は、そのレパートリーを見てもわかるとおり、ヨーロッパの古典合唱曲から、チェコスロヴァキアの現代合唱曲まで、実に多様な表現技能を持っている。そして、みごとな合唱アンサンブルを示したかと思うと、こんどは、ステージの上を舞踊団が顔負けするくらいの躍動感で跳んだり踊ったりするのである。私がとくに注目したいと思うのは、それら全体を通してチェコ少年少女合唱団の子どもたちは固苦しい緊張感をまったく見せることなく、実にのびのびと奔放なくらいの明るさで、歌いかつ演じていることである。

## 3. チェコ少年少女合唱団の演奏から何を感じ取るか？

チェコスロヴァキアの人間に聞くと、“チェコスロヴァキアの人はすべて音楽家である”と言う。この場合の音楽家とは、音楽で生活しているプロ音楽家のことを指すわけではない。一般のアマチュアであつても、ほとんどの人が合唱グループに加わったり、何かの楽器を演奏したりして、音楽を生活の中でたのしんでいて、プロとアマの区別がないのである。生活の中で音楽を楽しむことのできる人間を育てたいという、日本の音楽教育家たちにとっては、目標にしたいような国である。

今回の演奏旅行で、日本の各地の人たちは、ぜひともこのチェコスロヴァキアの子どもたちから、その底抜けと言ってよいほどののびやかさと、気取らない音楽への取り組み方などを学び取ってほしいものである。そして、合唱という場を通じて、両国の子どもたちの友情と相互理解が生まれることを、私は大いに期待したいと思っている。